

シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAPFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAPFの会員です。

2
No-125

収蔵作品特集

アーカイヴ・Part2 コレクション展

総合図書館に寄贈・寄託された作品の中から
他では見られない貴重な作品を特集

黄龍
イエロー・ドラゴン

特別企画

ヤマ

「炭鉱に生きる」 アンコール

「炭鉱に生きる」をアンコール上映
「海底炭鉱に生きる 池島からの報告」を同時上映



海底炭鉱に生きる 池島からの報告



炭鉱に生きる © 2006 MONTAGE inc.

収蔵作品特集

急速に発展する東南アジアの映画国
マレーシアの90年代以降の映画を特集

マレーシア 映画特集



ラスト・マレー・ウーマン



愛しのサルマ



アーカイヴ・コレクション展 Part2

2月14日(水)~18日(日)

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

* 定員制。各回入替制。* チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

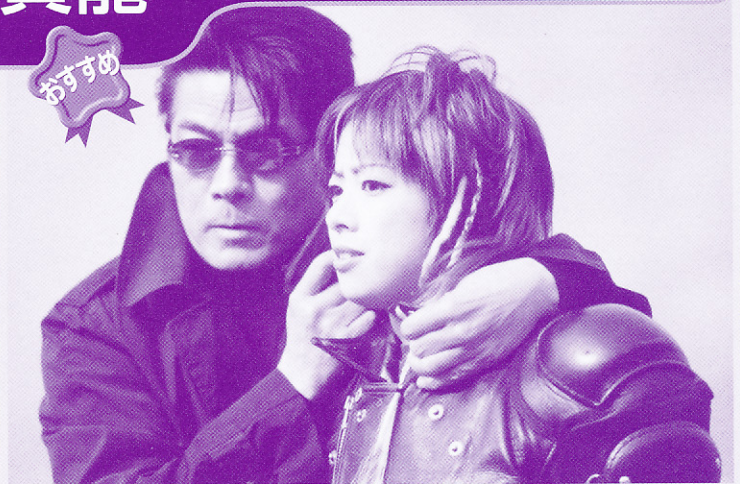
総合図書館では
個人コレクター、作家、著作権者の方々から
映像作品の寄贈・寄託を受け入れました
その中より、特にユニークで貴重な作品を
選んで紹介します



黄龍 イエロードラゴン

●2月17日(土) 17:00
●2月18日(日) 14:00

おすすめ



2002年/35ミリ/カラー/98分/倉田プロモーション

監督: 鹿島勤 撮影: 栢木直樹 編集: 鍋島淳裕 アクション: フィリップ・コク 出演: 倉田保昭、宮本真希、照英、チャーリー・チャン

人間の闘争本能を飛躍的に高めるが、強烈な毒性を持つ悪魔の劇業「イエロードラゴン」。その抗体を持つ天涯孤独の少女・純にせまる黒い影。純を守るために危険に身を投じる一人の男...。オール中国ロケで製作された無国籍アクションムービーの決定版。「マトリックス」のスタッフがワイヤー・アクションを担当、またアクション監督として「007 トゥモロー・ネバー・ダイ」のフィリップ・コクが参加している。倉田保昭の超人的肉体はここでも健在であり、観る者を唖然とさせるシーンが次々と飛び出す。ヒロインの純を演じる宮本真希は、映画「おもちゃ」(深作欣二)で日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞した実力派。

仔熊物語

浪曲大全

●2月14日(水) 14:00 ●2月17日(土) 11:00 (この2本は同時上映です)



1951年/16ミリ/モノクロ/59分

ラジオ映画社

監督: 今村貞雄 原千秋 撮影: 今村秀夫 音楽: 横田昌久
語り: 徳川夢声 出演: 菅野八重子、宮崎喜一、井上義雄

山奥で人間に飼われていた仔熊のブー公が、檻から逃げ出して冒険の旅に出る。様々な危険に遭遇するなかでブー公は野生を取り戻していく。本物の仔熊を主役にした実写映画。徳川夢声の名調子を楽しむことができる。



製作年不明(1952年以前)/16ミリ

モノクロ/23分/南旺映画社

演出: 木本健太 撮影: 弥間美吉 監修: 木下良夫 解説: 徳川夢声
出演: 三門博、玉川勝太郎、我妻おとめ、二葉百合子

学生たちが「日本浪曲学校」を見学するという設定のもと、浪曲の由来や伝統、また様々な技法を判りやすく解説した作品。三門博による「唄入り観音経」や玉川勝太郎による「天保水滸傳」など、名人たちによる実演も紹介されている。

路傍の灯

海に生きる人々

●2月15日(木) 14:00 ●2月17日(土) 14:00 (この2本は同時上映です)



製作年不明(1951年以前)/16ミリ

モノクロ/36分/東洋映画社

監督: 山下為男 撮影: 中村博之 原作: 加藤俊雄
出演: 樋口久俊、杉尾茂、茅渚子

貧しくとも懸命に生きる家族。小学生の良一はハーモニカが欲しくてたまらない。ある日、お遣いに行ったタバコ屋で、釣り銭を余分に受け取ってしまう。これでハーモニカが買えるしかし...。正直であることの美德を説いた教育映画。佐賀県の七浦が舞台。



製作年不明/16ミリ/モノクロ/31分

福岡県漁業協同組合連合会

原作: 猿渡達美 撮影: 中村博之、堀達美 助手: 許斐徳三
出演: 小台三四郎、須川泰育、茅渚子

1950年頃の糸島郡の唐泊と西の浦が舞台。漁師の青年・孝作には美しい婚約者がいる。しかし孝作は漁業の将来を憂い、勤め人の暮らしを夢見ている。都会に出たい孝作。しかし婚約者は反対するのだった。漁村の近代化をテーマにした啓発映画。

途方に暮れる三人の夜

●2月15日(木) 19:00
●2月16日(金) 19:00



1987年/16ミリ/モノクロ/92分

スタンス・カンパニー

監督: グレグ・アラキ 脚本: グレグ・アラキ 撮影: グレグ・アラキ
出演: ダーシー・マルタ、マーク・ホーウェル、ジョン・ラック

全編夜のシーンで展開するバンクで繊細なゲイ・ムービー。アーティストとしての成功を夢みつつも、すでに限界を感じている二人の男と一人の女。その三人が、大いなる倦怠と不眠の夜を彷徨い続ける。ゴダールの再来と評された日系アメリカ人監督グレグ・アラキの自主製作映画。

ファイナル・ファイト 最後の一撃

●2月16日(金) 14:00
●2月18日(日) 11:00



1989年/35ミリ/カラー/96分

倉田プロモーション

監督: 後藤秀司 撮影: 村野信明 脚本: 沢口義明
出演: 倉田保昭、ヤン・スー、サイモン・ヤム

「和製ドラゴン」こと倉田保昭が企画・製作・原案・アクション監督・主演と1人5役をこなす本格アクション大作。引退した元アジア空手道チャンピオンが復活するまでを描く。凄まじい格闘シーンの連続で観客の度肝を抜いた本作は、世界33ヶ国で公開され大ヒットを記録した。

マレーシア映画特集

アドナン中尉

Lieutenant Adnan

●2月 7日(水) 14:00
●2月11日(日) 14:00



2000年/35ミリ/カラー
133分/マレーシア

日本語・英語字幕付き

監督: アズイス・M・オスマン

出演: ハイリー・オスマン

ウミ・アイダ

イギリス植民地時代のマレーシア。幼い頃から利発だったアドナンは、軍隊に入りめきめき出世する。1941年12月、中尉として小隊を任されたアドナンは日本軍を相手に勇敢に戦う。アドナン中尉はマレーシアの在実の人物で、今なお高い人気を持っています。本作は彼の生涯を描いた歴史大作で、日本軍との戦いを描いた珍しいマレーシア映画です。

ビッグ・ドリアン

The Big Durian

●2月 8日(木) 19:00
●2月10日(土) 11:00



2003年/ビデオ/カラー
ドキュメンタリー/75分

マレーシア

日本語・英語字幕付き

監督: アミール・ムハマド

1987年クアラルンプールで、アダムという下士官が市街でライフルを乱射するという事件が起きる。街はパニックとなり、デマが飛び交い民族や宗教による対立が起きる。この映画は様々な民族や宗教の異なる人物に、アダムの事件についてインタビューした映像で構成される。そこから多民族国家マレーシアの自画像が浮かび上がる。

砂利の道

The Gravel Road

●2月 8日(木) 14:00
●2月10日(土) 14:00



2005年/ビデオ/カラー
92分/マレーシア

日本語・英語字幕付き

監督: ディー・バク・クマラン・メーナン

出演: サラダー、サラナ

シャントーはインド系の一家で、農園で働いていた。ある日姉に縁談話があるが、持参金の工面に親は頭を抱えてしまう。シャントーは大学に進学したいが、家族は女性に高い教育は必要ないと考えていた。多民族国家マレーシアの中でも少数派であるインド系タミル人の生活を描いた作品で、低予算のビデオ作品ながら世界各国で高い評価を得た。

筑豊の炭鉱で生きた人々をテーマとしたドキュメンタリー映画「炭鉱に生きる」をアンコール上映
総合図書館収蔵の海底炭鉱池島を記録したドキュメンタリー映画を同時上映

炭鉱に生きる アンコール



炭鉱に生きる
©2006 MONTAGE inc.

2月22日(木)~25日(日)

観覧料: 600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)

* 定員制。各回入替制。* チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

主催: 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 協力: 九州大学附属図書館

炭鉱に生きる

●2月22日(木) 14:00 ●2月24日(土) 14:00
●2月23日(金) 14:00 ●2月25日(日) 14:00



炭鉱に生きる ©2006 Sakube Yamamoto

証言をおりまぜながら、炭鉱の世界を活写していく。それは生命の危機と隣り合わせで、運命共同体のようにより暮らしていた炭鉱夫達家族の力強い生活の記録である。

(この2本は同時上映です)

海底炭鉱に生きる 池島からの報告



海底炭鉱に生きる 池島からの報告

2004年/35ミリ/カラー/ドキュメンタリー/70分

監督: 萩原吉弘 企画: 田中直樹、小松原時夫 監修: 深町純亮、田中直樹

山本作兵衛。明治25年に生まれた彼は明治から昭和にかけて筑豊の炭鉱夫として生きた。そして彼は炭鉱夫の傍ら自分の経験を描いた数百枚の炭鉱絵画を残した。その独自の画風は、炭鉱の世界を緻密に描いた絵画として、また絵画に描かれた彼の生活の記録は炭鉱夫の日常を詩情豊かに表したものと高く評価された。本作は山本作兵衛の絵を元にして、筑豊の炭鉱に生きた炭鉱夫達の証言をおりまぜながら、炭鉱の世界を活写していく。それは生命の危機と隣り合わせで、運命共同体のようにより暮らしていた炭鉱夫達家族の力強い生活の記録である。

1983年/16ミリ/カラー/ドキュメンタリー

RKB映画社/54分 監督: 野崎健輔

長崎県島炭鉱池島鉱業所の海底炭坑(深部坑道、海面下650メートル)にカメラを持ち込んで、そこで働く人々の仕事を記録したドキュメンタリー映画。

* 「炭鉱に生きる」と「海底炭鉱に生きる 池島からの報告」は併映です。「炭鉱に生きる」上映5分休憩後「海底炭鉱に生きる 池島からの報告」を上映します。

収蔵作品特集

急速に発展する東南アジアの映画国
マレーシアの90年代以降の映画を特集

マレーシア映画特集

2月1日(木)~12日(月・祝) ※休館日・休映日除く

観覧料: 500円(大人) 400円(大学生・高校生)
300円(中学生・小学生)

* 定員制。各回入替制。
* チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。
(手帳の提示が必要です。)

ジミ・アスマラ Jimi Asmara

●2月 2日(金) 14:00
●2月10日(土) 17:00



1994年/35ミリ/カラー
105分/マレーシア
日本語字幕付き
監督: エルマ・ファティマ
出演: ハニ・モフセン
ラヒム・ラズリ

1950年代から60年代、独立当時のマレーシアのイボ一市を舞台に、人気歌手ジミ・アスマラの生涯を描いた作品。まだ植民地の雰囲気が残るマレーシアでジミ・アスマラと彼に恋するウルク・イクラニの許されざる恋が、女性監督らしい繊細なタッチで描かれる。当時の歌がふんだんに聴けることも本作の魅力。

放火犯 The Arsonist

●2月 2日(金) 19:00
●2月 4日(日) 11:00



1994年/35ミリ/カラー
70分/マレーシア
日本語・英語字幕付き
監督: ウーエイ・ビン・ハジサアリ
出演: ハリット・サレ
アジザ・マザン

ジャワ人の誇りと伝統を重んじるカカン一家は、様々な迫害に耐えながら生活していた。カカンの息子のクスマは差別に耐えかねて、雇い主の納屋に放火をしてしまう。マレーシアにおけるジャワ人への差別を描いた問題作で、国内でも議論を巻き起こした。初めてカンヌ映画祭に招待されたマレーシア映画。

愛しのサルマ Sayang Salmah

●2月 3日(土) 11:00
●2月 9日(金) 14:00
●2月12日(月・祝) 14:00



1995年/35ミリ/カラー
123分/マレーシア
日本語字幕付き
監督: マハーディ・ムラー
出演: アスハ・スライマン
ファウズィア・ナウィ

1950年代、独立前後のマレーシアを舞台として、ある家族の崩壊を描いた作品。独立運動を展開する父と長男の対立。父の死と長男の逮捕、激動する時代の中で結婚して家を継いだ次男は働きなくなってしまう。独立に対するマレーシア人の葛藤が描かれている点が非常に興味深い。

ラスト・マレー・ウーマン The Last Malay Woman

●2月 3日(土) 17:00
●2月 9日(金) 19:00



1997年/35ミリ/カラー
117分/マレーシア
日本語・英語字幕付き
監督: エルマ・ファティマ
出演: エイスラン・ユソフ
ファニダ・イミラン

イギリスで演劇を学んだ劇作家ハイカルの演劇は不評だった。マレー人にとっての演劇とは何か悩むハイカルは、休養のため東部海岸のリゾート地へやってくる。ハイカルはそこで伝統文化を大切にする美しい女性ムスティカと出会う。大変美しい映像で描かれる恋愛ドラマの中に、マレー文化とは何かという問いがある。

女、妻、そして娼婦 Woman, Wife, and Whore

●2月 1日(木) 14:00
●2月 4日(日) 14:00
●2月12日(月・祝) 11:00

おすすめ



1993年/35ミリ/カラー/118分/マレーシア/日本語字幕付き

監督: ウーエイ・ビン・ハジサアリ 出演: ソフィア・ジェーン、ナスル・ビラン・カン

美しい女性ザレハは、結婚式の当日別の男と駆け落ちしてしまう。面子をつぶされた婚約者のアミロは、ザレハを探しだし、相手の男を射殺する。アミロはザレハを売春婦にしようとするが、ザレハは機転を利かせてアミロと正式に結婚することに成功する。しかたなくアミロはザレハを村に連れて帰る。アミロは乱暴な男で、ザレハに暴力をふるう。一方ザレハも自由奔放な女性で街で男を誘ったり、不倫をしつづけるのだった。マレーシアはイスラム教社会です。それまでザレハのような奔放な女性が映画に描かれたことはありませんでした。女性団体などからの抗議により、映画は公開時数カ所カットされ、題名も「女、妻、そして…」と変更されました。但し映画は大評判となり数多くの賞を受賞しました。主演のソフィア・ジェーンは当時の人気女優で、その演技も魅力的です。今回の上映は題名を元に戻し、カットされる前のバージョンで上映いたします。新しいマレーシア映画の先鞭ともいえる作品なのです。

追いつ追われつ Senario Again

●2月 3日(土) 14:00
●2月11日(日) 11:00



1999年/35ミリ/カラー
120分/マレーシア
日本語・英語字幕付き
監督: アズイス・M・オスマン
出演: アズリ・ジャファル
ヤスィン・ヤーヤ

マレーシアで大人気の5人組男性グループ「シナリオ」を主役にしたコメディ映画。マレーシア映画史上第二位という興行成績を記録した大ヒット作。カーチェイス・シーンやインド映画を思わせるダンス・シーン、五人の息のあったギャグの連発にロマンチックな恋愛ドラマと、徹底した娯楽作品となっている。

2月

上映スケジュール

マレーシア映画特集

1 木	(14:00) 女、妻、そして娼婦	
2 金	(14:00) ジミ・アスマラ (19:00) 放火犯	
3 土	(11:00) 愛しのサルマ (14:00) 追いつ追われつ (17:00) ラスト・マレー・ウーマン	
4 日	(11:00) 放火犯 (14:00) 女、妻、そして娼婦	
5 月	休館日	
6 火	休映日	
7 水	(14:00) アドナン中尉	ジミ・アスマラ
8 木	(14:00) 砂利の道 (19:00) ビッグ・ドリアン	
9 金	(14:00) 愛しのサルマ (19:00) ラスト・マレー・ウーマン	
10 土	(11:00) ビッグ・ドリアン (14:00) 砂利の道 (17:00) ジミ・アスマラ	
11 日	(11:00) 追いつ追われつ (14:00) アドナン中尉	
12 月(祝)	(11:00) 女、妻、そして娼婦 (14:00) 愛しのサルマ	



放火犯



ジミ・アスマラ



仔熊物語

アメリカ映画・展 Part2

13 火	休館日	
14 水	(14:00) 仔熊物語/浪曲大全	仔熊物語
15 木	(14:00) 路傍の灯/海に生きる人々 (19:00) 途方に暮れる三人の夜	
16 金	(14:00) ファイナル・ファイト 最後の一撃 (19:00) 途方に暮れる三人の夜	
17 土	(11:00) 仔熊物語/浪曲大全 (14:00) 路傍の灯/海に生きる人々 (17:00) 黄龍 イエロードラゴン	
18 日	(11:00) ファイナル・ファイト 最後の一撃 (14:00) 黄龍 イエロードラゴン	



浪曲大全



海底炭鉱に生きる 池島からの報告



炭鉱に生きる ©2006 MONTAGE inc.



炭鉱に生きる ©2006 MONTAGE inc.

次号予告

収蔵作品
特集

日本映画名作選

収蔵作品から日本映画の
名作・秀作をセレクトして上映

3月1日(木)～23日(金) *休館日・休映日除く

上映
作品「エノケンのちゃっきり金太」
1937年/P.C.L./監督:山本嘉次郎「お嬢さん乾杯」
1949年/松竹
監督:木下恵介「田園に死す」
1974年/ATG
監督:寺山修司

ほか 全16作品上映

INFORMATION

■ ホームページ「うえぶシネラ」をご覧ください。

● うえぶシネラ
アドレス <http://www.cinela.com>

■ 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので、長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力いただきますようお願いいたします。

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分
西鉄バス：*天神～都市高速経由～福岡タワー南口（所要時間：昼間で約20分）*博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口（所要時間：昼間で約25分）福岡タワー南口バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター（電話 733-3333）に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館
(代表) 092 (852) 0600
映像資料課 092 (852) 0608
FAX 092 (852) 0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
ホームページアドレス
<http://www.cinela.com>

貴重資料展示

熱き時代

—アーカイブでよみがえる炭鉱—

会場：アクロス福岡 2階交流ギャラリー
福岡市中央区天神1丁目1番1号
日時：2月15日(木)～2月20日(火) 入場無料

我が国の近代化を支えた石炭産業。筑豊や大牟田でその産業を興した福岡出身の実業家の人物像や地域貢献について、また、坑内の厳しい労働に生きた人々の暮らしや坑内事故や労働運動について、文学や絵画、写真集、地域の記録資料として残されているものを展示し、その歴史を振り返ります。また、現代に甦るものとして、近代化産業遺産として保存し、観光振興に取り込む動きも含めて紹介します。

主催：九州大学附属図書館、福岡県立図書館
共催：(財)アクロス福岡
後援：福岡県図書館協会
協力：福岡市総合図書館、映像ホール・シネラ実行委員会

関連講演会

炭鉱って何だったのだろうか
—わたしの筑豊—

会場：アクロス福岡 1階円形ホール

日時：2月18日(日)

午後2時～3時30分

入場無料

講師：荻野喜弘

(九州大学附属図書館付設記録資料館館長)

定員：120名

お申し込み：アクロス福岡文化観光情報ひろば
カウンターまたはお電話でお申し込みください。

TEL: 092-725-9100 (10:00～18:00)

お問い合わせ先

092-642-2533 (九州大学附属図書館)



石炭を掘る(昭和24年) 九州大学附属図書館付設記録資料館 所蔵

